

## 「環境白書」の刊行にあたって



現代の暮らしや産業は、豊かな自然や環境の中で営まれていることから、今を生きる私たちには、経済・社会の活動の基盤であるふるさとの自然環境を次世代に引き継ぐ責務があり、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築していくことが何より重要です。

そこで、本県の環境の状況、講じた施策をしっかりと示し、県民の皆様に健全で恵み豊かな環境の保全と創造に向けた取組を実践していただくため、ここに「平成26年版山口県環境白書」を上梓しました。

温暖化の原因となる温室効果ガス排出量や、エネルギー多様化の指標ともなる再生可能エネルギー導入量、廃棄物の再生利用量、大気・水環境の観測値等をみますと、本県の環境は概ね良好に推移しております。

しかしながら、地球温暖化対策や再生可能エネルギーの導入促進、廃棄物の適正処理、生物の多様性の確保など、一層の取組が求められる課題も多くあり、安心安全な県民生活の確保や円滑な社会経済活動の促進のためにも、その基盤となる環境の保全と創造が重要です。

こうした環境を巡る情勢の変化に的確に対応し、本県の地域特性や産業特性を活かした独自の取組を一層推進していくため、第3次「山口県環境基本計画」を昨年10月に策定し、省エネ・節電の徹底や再生可能エネルギー導入の加速化、廃棄物の発生抑制・適正処理の推進、生物多様性の確保など、各種施策を総合的かつ計画的に推進しているところです。

また、国の新たな温室効果ガス削減目標に関する施策も勘案して「山口県地球温暖化対策実行計画」を本年8月に策定したところであり、本計画に基づき、県民、事業者、行政等の全ての主体が連携・協働した取組を推進することとしております。

私は、これらの直面する課題にしっかりと向き合い、県民の皆様が「山口県に生まれてよかった」と思っただけのような積極果敢に取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

終わりに、本書が、健全で恵み豊かな環境の保全と創造に向けた県民の皆様の方強い行動への一助となり、「活力みなぎる山口県」の実現につながることを心から期待しております。

平成26年（2014年）10月

山口県知事 村岡嗣政